



あだっこ

五條市立阿太小学校だより
平成 29 年 10 月 13 日
第 19 号

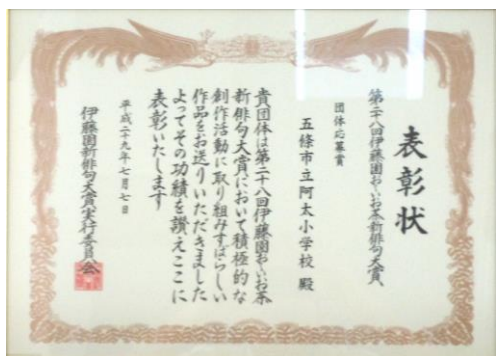
あかるく元気な子 だれにも親切な子 しっかり考える子 ことばを大切にする子



水筒を 垂直にして 飲んだ夏



○昨年度までの継続した取組が評価され、「第 28 回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞団体応募賞」に本校が選ばれました。そして、9 月末に表彰状と作品集をいただきました。



標記の句は、その作品集の表紙を飾っていた句です。残念ながら本校児童ではなく、東京の 14 歳の中学生の句です。
『サマーキャンプで飲み物を忘れた友達に水筒を貸した。すると彼女はよほど喉が渴いていたのか水筒を垂直にごくごくと飲んだ。「え！そんなに飲むの？」と少々焦った時の光景を俳句にした。』と、作者は書いています。なるほど、たった 17 音ですが、そのときの情景や気持ちを見事に表現していますね。

○その他にも…

- ・プールあと 体が地球に へばりつく (9 歳)
- ・石垣を のぼってやると 蛇がいう (11 歳)
- ・はまぐりを 塩で洗うと 笑い出す (12 歳)
- ・タンポポの なかなかぬけない 強い意志 (12 歳)
- ・ずる休みした 私の顔を 犬見てる (12 歳)



といった句がありました。また、佳作に入賞した昨年度の本校 6 年生の句も掲載されました。

- ・干しいもや けしょうをつけて 並んでる

○本年度も本校児童は、ことばを大切にする「あだっこ」として、目に見えたものや心に感じたことを 17 音で表現する活動を続けています。

今年度、奈良新聞の「ジュニア川柳」欄に紹介された句の一部です。

- ・ウシガエル 「ウォー」とさけんで ダイビング
- ・我が家族 もみじまんじゅう 待っている
- ・今もなお 戦争続く この空で
- ・香ばしい におい広がる 焼きさんま
- ・知らぬ間に すくっとさくよ 彼岸花



- ・秋の森 まつぼっくりを 持つ子供
- ・やくそくで うそついた人 くりのます
- ・空見上げ おなかがゲーと イワシ雲
- ・満月に 宿題しろと 書いてある



最近、校舎内の作品
掲示場所で見かけ
た句の一部です。

○子どもたちのみずみずしい感性を生かした創作活動に、今後も乞うご期待！

※子どもたちの学校での様子等をブログで紹介しています。阿太小学校HPを開いて「ブログ」をご覧ください。スマホ等でも見ることができます。